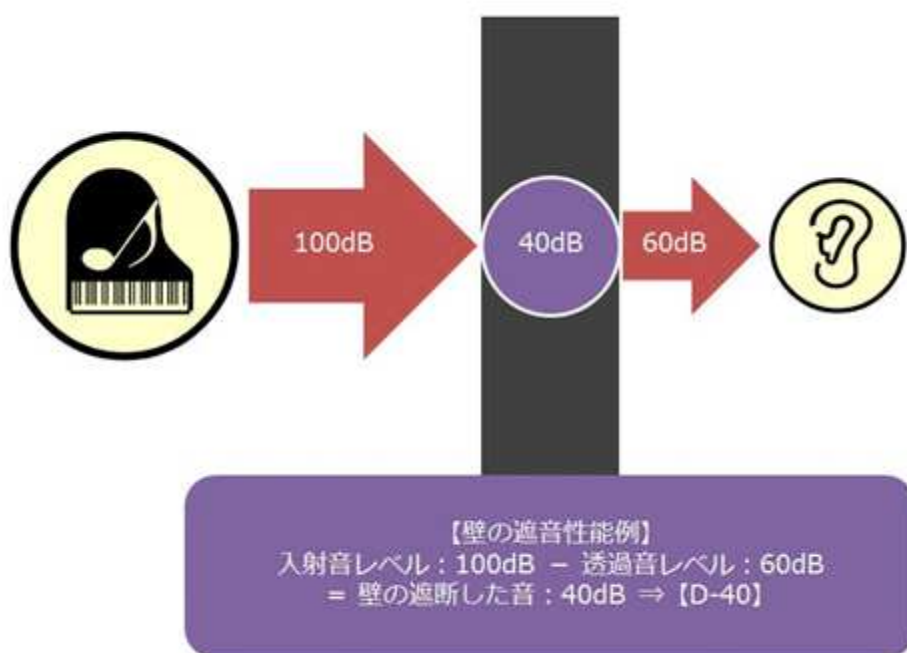


遮音性能と D 値

遮音性能の表し方

遮音性能は、壁に入る音（入射音）のレベルと、壁を透過する音（透過音）との音圧レベルの差をデシベル（dB）で表した透過損失【D 値】で表します。



遮音等級【D 値】

遮音性能を評価する尺度として「遮音等級」が規定されています。

遮音性能の求め方は、中心周波数 125、250、500、1000、2000、4000Hz の 6 帯域における音圧レベルの差を測定、日本建築学会の遮音基準曲線【表 1】にあてはめ、測定値がすべての周波数帯域において、ある基準曲

線を上回るとき、その最大の基準曲線につけられた数値によって遮音等級を表します。ただし、測定誤差などを考慮して各周波数帯域の測定値に 2dB を加えることが許容されています。

※D 値は「JIS A 1419:1992」に規定された遮音等級であり、2000 年 1 月に改定された現「JIS A 1419:2000」において Dr 値に変更されておりますが、D 値 = Dr 値と考えて問題ありません。

【表 1】遮音等級の基準周波数特性

